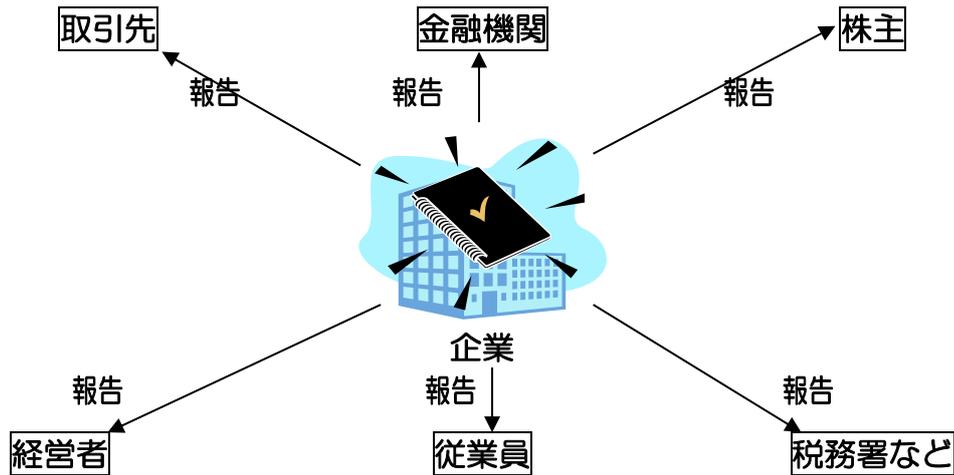


**簿記検定
3・2級講座説明会**

簿記とは？

簿記とは、会社の活動を記録して報告する方法を学習するものです。

会社には、様々な立場で関心を持つ人達（利害関係者）が存在します。



会社は、これら利害関係者に対して定期的に(必要に応じて)、会社の状況を報告する必要があります。

【例えば】

①銀行からお金を借りる場合

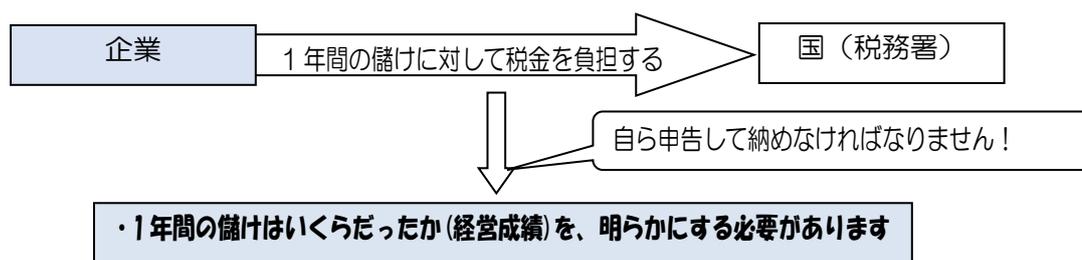


利息を支払って、きちんと返済できる力があることを、証明する必要があります。

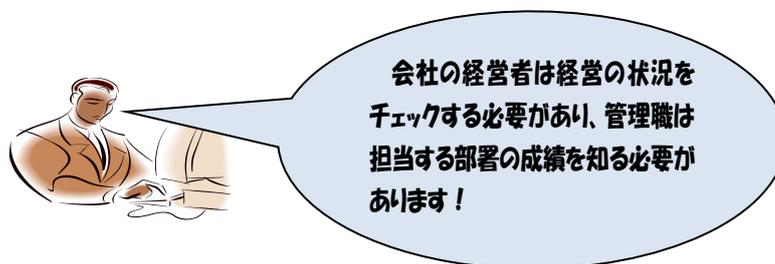
次の情報を、提供しなければなりません！

- ・今、財産と借金のバランスの状態はどうなっているのか（財政状態）
- ・毎年いくら儲けているのか（経営成績）

②国に税金を納める場合



③会社の経営を成功させるためには



会社は、このように経営の状況を様々な場面で、把握し・明らかにしなければなりません。そして、そのためにはまず日々行われる活動（お金の流れ）を正確に記録しておく必要があります。もちろん、その記録の方法は、統一されたルールに基づくものでなければ信頼を得ることはできません。

簿記では、会社の日々の活動を記録するためのルールと、記録に基づいて会社の経営の状況（経営成績や財政状態）を明らかにするための報告書（財務諸表）を作成する方法を学習していくことになります。

簿記で作成する代表的な報告書（財務諸表）

財政状態（財産と借金のバランスの状態）を明らかにするために貸借対照表（Balance Sheet : B/S）を作成します！

貸借対照表

<u>資 産</u> (所有する物や権利)	<u>負 債</u> (後で支払う義務)
例: お金 1,000 円 建物 2,000 円 土地 2,000 円	例: 借金 3,000 円
	<u>純資産(資本)</u> (正味の財産)
	例: 資本金 2,000 円

経営成績（どんな活動でいくら儲けたか）を明らかにするために損益計算書（Profit and Loss Statement : P/L）を作成します！

損益計算書

<u>費 用</u> (支払った内容)	<u>収 益</u> (受け取った内容)
例: 給料の支払額 2,000 円 家賃の支払額 1,000 円	例: 商品の販売額 3,000 円 利息の受取額 1,000 円
<u>当期純利益</u> (1 年間のもうけ)	

簿記とお小遣い帳の違い

(お小遣い帳)

お小遣い帳では、決まった様式などはありませんが、現金の増減のみを記録することになります。

月	日	ないうち	もらったお金	使ったお金	残りのお金

(簿記)

最終的に作成する財務諸表に合わせて、会社の活動を**資産・負債・資本・収益・費用**の5つの要素に分類して記録していきます。
つまり、現金の増減だけでなくそれ以外の内容も記録していくことになります。

会社の財政状態(財産と借金のバランスの状態)を明らかにする!

貸借対照表 (B/S)

資産 会社が持っている 物・権利	負債 後で、支払う義務
	資本 会社の正味の財産

会社の経営成績(どんな活動でいくら儲けたか)を明らかにする!

損益計算書 (P/L)

費用 支払いの内容	収益 収入の内容
当期純利益 1年間のもうけ	

簿記の知識の活かし方

簿記を学習することで、会社の活動内容を数値で記録し報告する方法や、逆に数値から会社の活動内容や成績を正しく読み取るための知識を習得できます。

これらは、業種・職種を問わず全ての仕事において必要になるので、希望する仕事の内容にかかわらず簿記は学習しておくべきです。



【例えば、次のような場面で活かすことができます。】

- 就職活動の時に、財務諸表から会社の様々な情報を読み取れるようになります。
- 業種や職種によっては、インターンシップの選考やインターンシップでの課題において簿記 2 級の知識が必要であったり、あった方が有利であったりする場合があります。アドバンテージとすることができます。
- 経済に関するニュースを深く理解できるようになります。
- 内定後、入社までに簿記検定の合格を求められる場合があります、先に合格しておくことで、他のことに取り組む時間的余裕ができます。
- 就職後、仕事上のコミュニケーションがとりやすくなります。
- 就職後、提案書の作成などに役立ちます。
- 簿記の学習内容は、全ての業種・職種に跨るものなので、様々な資格試験の勉強に繋がっていくことができます。

日商簿記3級の概要

① 試験の概要

全国統一試験 (筆記形式)	年3回実施(6月・11月・2月)	(出題範囲) 商品売買業を行っている、小規模の株式会社における会計処理(小規模の株式会社を前提とする商業簿記)
C B T 試験 (PC画面上)	テストセンターで随時実施	

② 出題形式

試験時間	第1問(45点)	第2問(20点)	第3問(35点)	合格点
60分	仕訳問題(15問)	勘定記入・補助簿など	決算問題	70点

日商簿記2級の概要

① 試験の概要

全国統一試験 (筆記形式)	年3回実施(6月・11月・2月)	(出題範囲) ・商品売買業やサービス業を行っている、中規模の株式会社における会計処理(中規模の株式会社を前提とする商業簿記) ・製造業における会計処理(工業簿記)
C B T 試験 (PC画面上)	テストセンターで随時実施	

② 出題形式

試験時間	商業簿記 から出題	第1問(20点)	第2問(20点)	第3問(20点)	合格点
90分	工業簿記 から出題	仕訳問題	個別論点 連結会計	決算問題	70点
		第4問(28点) (1)仕訳問題 (2)工業簿記全般	第5問(12点) 主として、 標準原価計算・直接原価計算		